



# マスタマイゼーションをサポートする『つながる化』

山本 博士  (株)IHI

浦川 賢治  シュナイダーエレクトリック  
ホールディングス(株)

川内 晟広 (特非)ITコーディネータ協会

小川 文子 伊豆技研工業(株)

笹川 浩 (株)インテック

岡田 和久 日本電気(株)

川島 清隆 (株)荏原製作所

森 一博 (株)荏原製作所

寺田 博文 (株)神戸製鋼所

松本 俊子 (株)日立製作所

発表者: 山本博士

## 対象とする問題:

企業間・企業内各部署間のバリューチェーンとしての情報のやりとり

## 対象とする業種・業態:

受注生産型(作るものが受注ごとに違う)

一品製品～少量製品 ← 製品はハードで最終製品・部品を想定

中小企業にも  
大企業にも多い

ソフトウェア  
ではない

## なぜこの問題、対象を取り上げるに至ったのか(WHY)

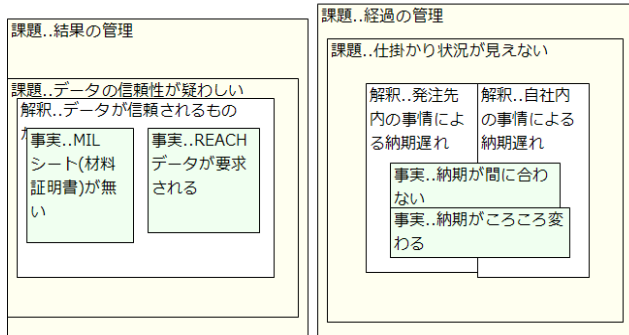
- IVIの業務シナリオワーキンググループの活動として、やはり『つながる』はキーワード・キーコンセプト
- 日本のものでづくりのトレンドであるマスカスタマイゼーションに必要な、企業間・企業内バリューチェーンでの様々な情報のやりとりをなんとかしたい
- IVIのこれまでの業務シナリオワーキンググループ活動の中でも、何度も取り組んできている問題だが、シーンがさまざまある。

## この課題を解決することで、どのような効果(指標)が期待されるのか(全体的・経営的な視点)

- Quality(製造品質・外注品質)の安定 ← 不適合・保留の減少
- Delivery(納期)の安定 ← リードタイムの短縮



困りごとチャート



事実..仕様がかわる

メンバーでまずは業種・業態を問わずに困りごとを議論

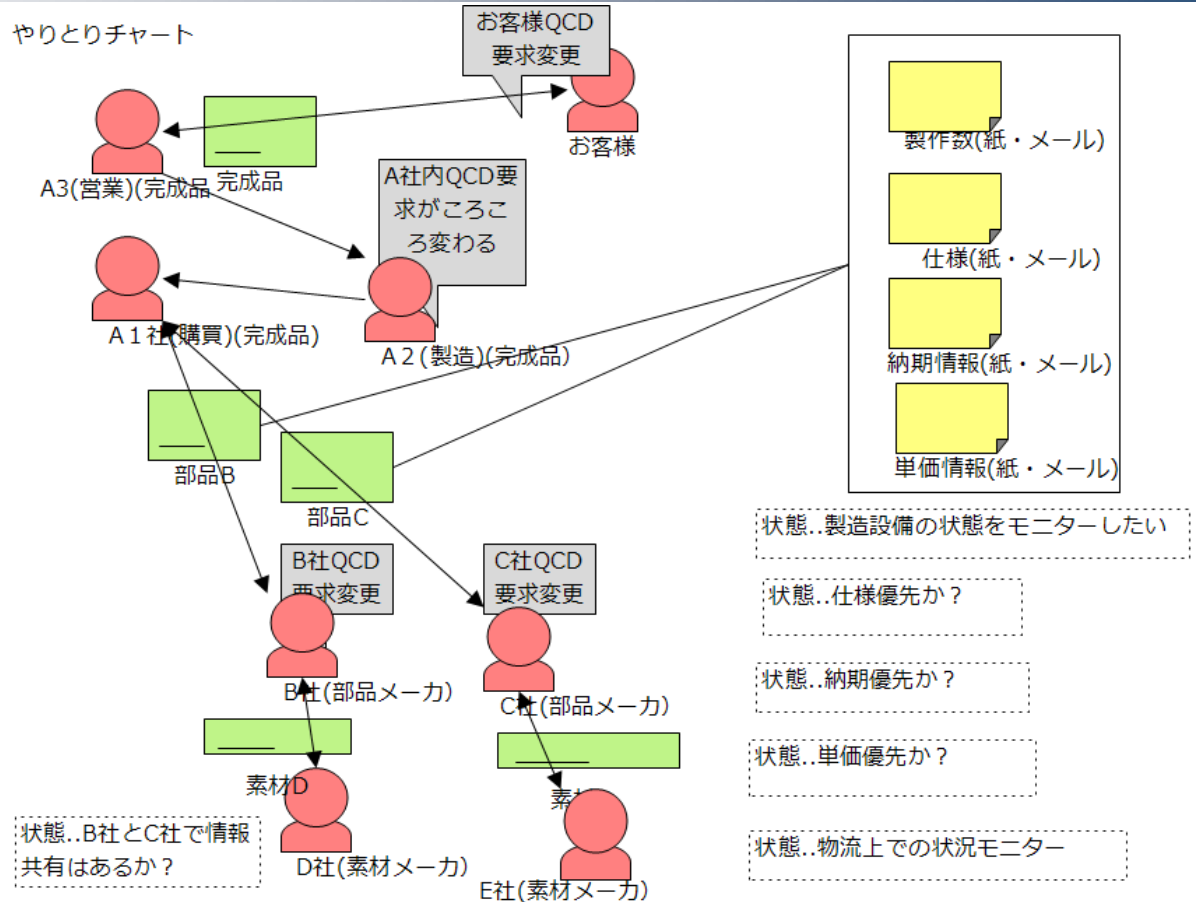
問題:バリューチェーンがうまくつながっていない

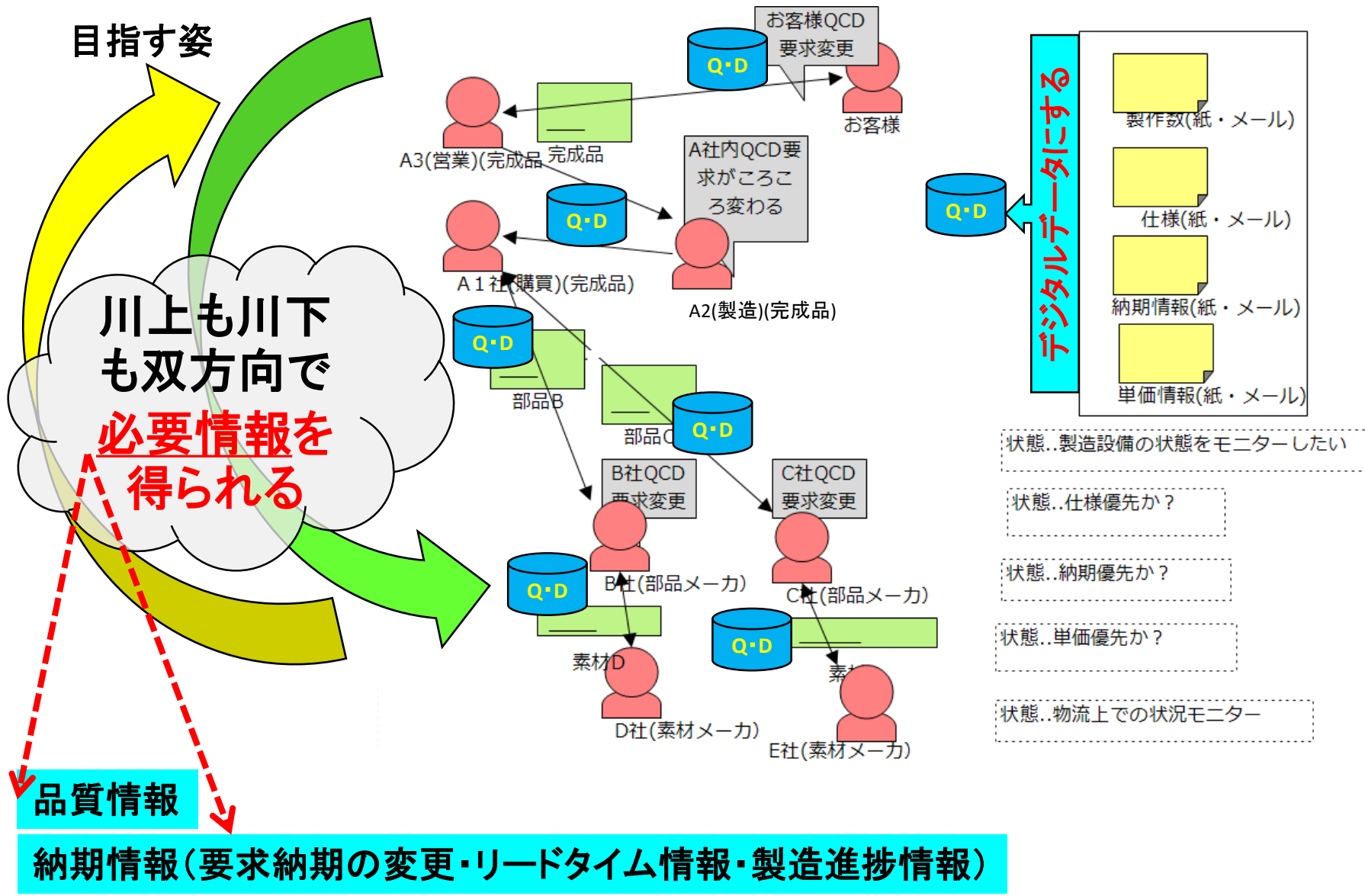
製品メーカーA社:  
 お客様要求を知りたい  
 外注先(B・C社)の状況を知りたい(Q,D)

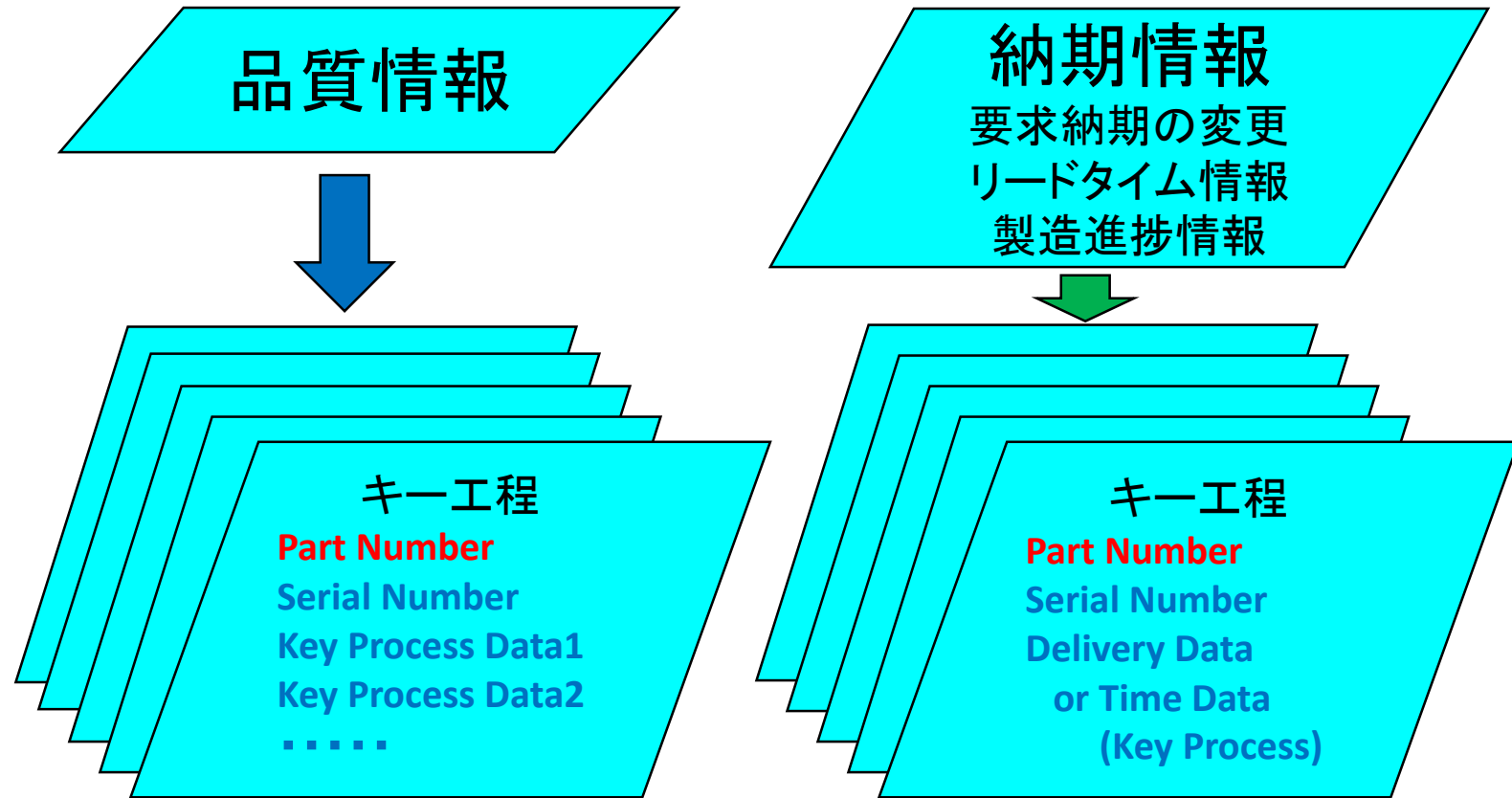
部品メーカーB社・C社:  
 お客様(A社)要求を知りたい  
 外注先(D・E社)の状況を知りたい(Q,D)

部品メーカーD社・E社:  
 お客様(B・C社)要求を知りたい

やりとりチャート







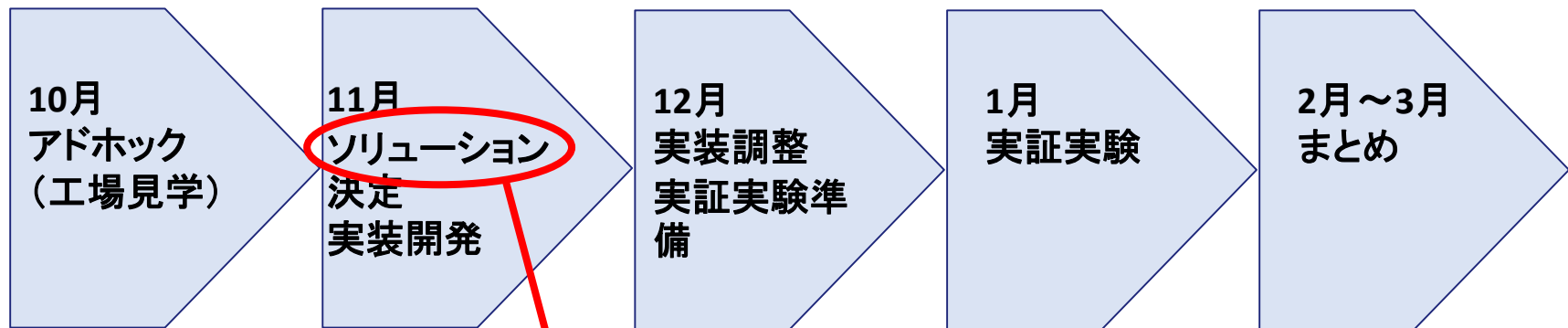
川上も川下も双方向で必要情報を得られるようにする

川上でも川下でも **変わらない情報**を決めてその他の情報を付属させる

Part Numberが使えるのではないかと?

Part Numberは本当に変化しないかと?

現在  
議論中



## PoC型として

受注生産型(作るものが受注ごとに違う)を対象に  
川上・川下双方向で必要情報が得られることを実証する

セキュアにICT技術で実施する方法として、できればブロックチェーン技術を使用  
する実験をしたい。

現在使用できそうなソリューションを募集中です！

